

**コンゴ(民)経済情勢  
月例報告  
2017年1月**

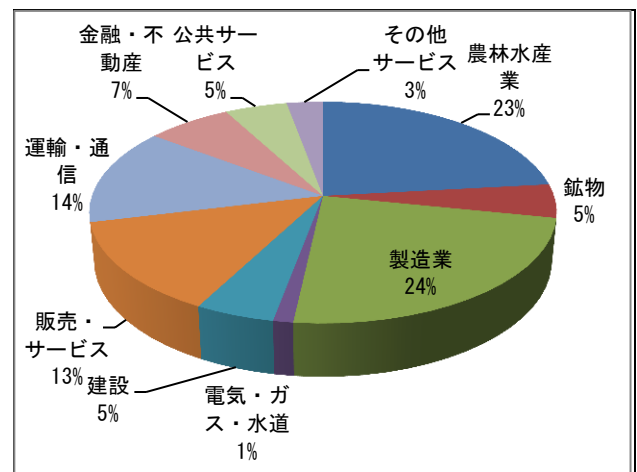
**主な出来事**

- Congo Airways は従業員の保障と同社の存続のためには経営コスト圧縮などの抜本的な改革が必要であるとし、2017年1月より全従業員の給与の17%削減を実施する。
- BCCは2016年のコンゴ(民)の経済成長率は2.5%、外貨準備高は8億7,100万ドル(2015年17億ドル)であったと発表した。IMFによると2017年は経済情勢の回復が見込まれている。
- BCCは政策金利を7%から14%へ引き上げるとを発表した。

	主なマクロ経済指標	2015年	2017年1月
1	人口(百万人)	74.88	-
2	失業率(%)	NA	-
3	実質 GDP(百万ドル)	22,947.33	-
4	名目 GDP(百万ドル)	37,393.23	-
5	一人当たり GDP(ドル)	524.16	-
6	GDP 成長率(%)	6.9	-
7	インフレ率(%)	1.37	11.24%(2016年目標 4.2%)
8	貿易収支(百万ドル)	550.89	-
9	輸出(百万ドル)	10,325.28	-
10	輸入(百万ドル)	9,774.54	-
11	対外直接投資(百万ドル)	498.13	-
12	対内直接投資(百万ドル)	918.00	-
13	外貨準備高(百万ドル)	1,405.06	852.00
14	対外債務残高(百万ドル)	NA	-
15	為替レート(対ドル)	925.99	1215.59
16	主要政策金利(現行、年利%)	2.00	14.00

(2015年データ出典:コンゴ(民)中央銀行(ただし人口のみ世銀2014年))

GDP セクター別構成比(2015年)



(出典: OECD African Economic Outlook 2015)

## 経済

### 1. 市場（鉱物・資源関係）

#### （1）MIBA社：2016年業績

ベルギーとコンゴ（民）資本のダイヤモンド採掘企業のMIBA社は、2016年のダイヤモンドの産出高が600万ドル（87カラット）であったと発表した。（11日付けRadio okapi）

#### （2）グレンコア社：ムタンダ鉱山

スイスのグレンコア社は6日、フルレット・グループが一部権益を保有しているムタンダ鉱山事業の独占的買収に興味を示した。ムタンダ鉱山事業はフルレット・グループが31%、グレンコア社が69%を保持している。ムタンダ鉱山は2016年1月から9月にかけて16万トンの銅、1万8,000トンのコバルトを産出している。（10日付けPotentiel など）

#### （3）金採掘：国軍将校の違法関与および中国企業との癒着

国連の専門家委員会は、コンゴ（民）国軍の将軍3名、大佐2名が昨年9月に南キブ州の金違法採掘への関与が疑われながらも、訴追が行われなかった事実に対し、コンゴ（民）政府が無処罰の慣習から脱却できず、国軍と犯罪組織との癒着問題に十分対処できていないことに懸念を表明した。東部のイツリで在留中国人によって運営されていると思われる企業「Kimia Mining」の調査も呼びかけている。（9日付けAFP）

#### （4）キバリ・ゴールドマイン：2017年操業方針

イトゥリ州にて活動する鉱物企業のキバリ社は2017年の金採掘を61万オンスとする操業方針を発表した。（17日付けACP）

### 2. 市場（インフラ・農業・投資・金融などその他）

#### （1）ベルギー経由豚肉：輸入禁止

関税総局（DGDA）は3日、ベルギー経由の豚肉の輸入を禁止すると発表した。ベルギー経由でアフリカに輸入される豚肉の貨物に有害化学物質が含まれていることが判明し、EUが注意喚起していた。（5日付けRFI など）

#### （2）Congo Airways：経営スリム化

Congo Airways は現在経営難に陥っており、従業員の保障と事業の存続のためには経営コストの圧縮など、抜本的な改革が必要とされている。2016年11月に催された取締役会にて承認された2017年予算計画に基づき、2017年1月より全従業員の給与の1

7%削減を実施する。(31日付け Radio okapi)

### (3) オレンジ：通信業界シェア2位

通信業界のオレンジ社は2016年に Tigo を買収したことにより、契約数が900万件まで増加し、コンゴ（民）の通信業界のシェア31%を占めている。業界首位はヴォーダコム（Vodacom）の32%である。(12日付け Radio okapi)

### (4) 空港税：増加

ゴー・パス（Go Pass）の名称で呼ばれる空港税の引き上げが発表された。国内線旅行者は10ドルから35ドルへ、国際線旅行者は50ドルから58ドルへの引き上げが検討されている。(18日付け ACP)

## 3. 財政・マクロ経済・行政など

### (1) 2017年1月仮予算：上院による承認

2017年1月の仮予算が上院にて採択された。上院は政府に対し、2017年予算案を遅くとも3月15日までに提出するよう求めている。1月の仮予算は約5億6,550万ドルである(2日付け ACPなど)

### (2) 2016年経済成長率：2.5%

BCCは2016年のコンゴ（民）の経済成長率は2.5%、外貨準備高は8億7,100万ドル(2015：17億ドル)であったと発表した。IMFによると2017年は経済情勢の回復が見込まれている。(10日付け Radio okapi)

### (3) 政策金利：7%から14%へ

BCCは13日、通常会議を催したところ、発表された年末のマクロ経済指標以下のとおり。

#### 経済成長率

2.5%

#### インフレ率

11.24% (インフレターゲット4.2%)

#### 財政収支

2016年は5039億CFの赤字

#### 為替率

銀行間レート 1,215.59 CF / CF

市中間レート 1, 269. 13CF/CF

#### 外貨準備高

8億5, 200万ドル

#### 政策金利

7%→14%へ引き上げ

#### 準備率

13% (当座) 12% (定期)

#### **(4) BCC : ドル売り介入の実施**

BCCは進行するコンゴ・フラン安の歯止めのため、23日にドル売り介入を実施すると発表した。BCCは昨年以降複数回のドル売り介入を実施しているが、コンゴ・フラン安は引き続き進行している。(23日付け mediacongo)

#### **4. 対外関係**

##### **(1) 中央アフリカ経済共同体 (CEEAC) : キンシャサ・ブラザヴィル架橋事業**

2016年12月に催された中部アフリカ経済共同体 (CEEAC) の専門家会合の中で、2009年に調査を実施していたブラザヴィル・キンシャサ間の架橋事業の調査が再び開始される方向で一致したことがわかった。キンシャサ・イレボ間 (カサイ州) の鉄道敷設事業と連携しており、推定4億ユーロと見積られる同事業には、アフリカ開発銀行 (AfDB) が2億5, 000万ユーロの融資を表明しており、コンゴ (民)・コンゴ (共) が1億1, 000万ユーロを負担する。現在残りの4, 000万ユーロの投資を募っている。(23日付けRFI)

#### **5. 開発協力**

##### **(1) 草の根・人間の安全保障無償資金協力 : マルク区手押しポンプ付井戸建設計画**

10日、日本大使館にて「全体開発のための女性の会 (COFEDI)」に対する「マルク区手押しポンプ付井戸建設計画」の署名式が催された。79, 000ドルの同事業によりマルク区に計8基の井戸が建設される。安全な飲料水の確保により、コレラ等の感染症の回避および水くみ労働の軽減を通じた女性の就労機会を拡大に貢献する。(11日付けACPなど)